

技能評価システム移転促進(SESPP)事業

## 事業実施報告書【カンボジア】

- ◆2017年11月13日(月)～17日(金)
- ◆カンボジア プノンペン NPIC(National Polytechnic Institute of Cambodia)
- ◆電気工事士 職業訓練技法研修および技能評価者講習

平成29年12月

## 1. 事業の全体概要

- (実施期間) 平成 29 年(2017 年)11 月 13 日(月)～17 日(金)  
 (実施場所) カンボジア王国 NPIC(National Polytechnic Institute of Cambodia)  
 (職 種) 電気工事士 職業訓練技法研修および技能評価者講習  
 (講 師) 厚海 秀章氏、木下 富博氏  
 (受講者数) 6名  
 (実施日程)

日時	活動名(指導内容)	
11 月 13 日(月) 9:00～15:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付、挨拶、スケジュール説明</li> <li>課題の説明 →法的根拠、技能のポイント</li> <li>デモンストレーション →解説を加える</li> <li>開講式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国技能大会開会式に参加 開会式後にきんでん専門家 2 名に感謝状が贈呈された。</li> <li>NPIC 副校長、TVET 担当副総局長スピーチ</li> </ul>
11 月 14 日(火) 9:00～15:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーション(続き)</li> <li>配管、配線作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講生と多数のオブザーバーから多くの質問が出た</li> <li>完成した作品を用いて詳細解説</li> </ul>
11 月 15 日(水) 9:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>配管、配線作業(続き)</li> </ul>	
11 月 16 日(木) 8:30～16:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>入線、結線、仕上げ作業</li> <li>講義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講生全員の通電確認ができた</li> </ul>
11 月 17 日(金) 8:30～15:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>採点方法の説明、実施、採点評価</li> <li>講評、後片付け</li> <li>講習、質疑応答</li> <li>閉講式修了証書授与</li> </ul>	閉講式スピーチ ・カンボジア労働省関係者 ・受講生代表者 記念撮影



講習風景 (後方はオブザーバー)



デモンストレーション

## 2. 総評

今回の研修はカンボジア全国技能競技大会のサイドイベントの一つとして行われた。そのため、政府や企業関係者、工業高校生など多数の見学者が会場を訪れ、多くのオブザーバーは専門家による手ほどきに見入っていた。また、受講生である現地指導員6名は、とても熱心で集中して受講していた。オブザーバーとして、現地指導員も数名参加していたが、受講生からもオブザーバーからも質問が多く出ていた。少しでも『自分のもの』にしようという意欲が、会場全体から感じられた。カンボジアは、電気に関する法律が全く無いようなので、しっかりとした法の下で、国家資格を制定すれば、カンボジア国内が安心して快適に電気を使用でき、安定したインフラを確保できるのではないかと確信した。

## 3. 受講者へのアンケート結果(受講者6名)

(1) 研修全体満足度 大変満足=6人 満足度 100%

(2) ①役立ち度、継続性 (職業訓練技法)

◆役立ち度: 大変役立つ=5人 役立つ=1人 役立ち度 100%

◆継続性: 是非継続すべき=4人 継続すべき=2人 継続希望度 100%

②役立ち度、継続性 (評価者講習)

◆役立ち度: 大変役立つ=4人 役立つ=2人 役立ち度 100%

◆継続性: 是非継続すべき=4人 継続すべき=2人 継続希望度 100%

(3) 次年度に向けて改善すべき内容

・資料の量がもう少しあると良い。 ・採点実習の時間がもう少しほしい。

(4) 将来、研修を希望する職種

・ 空気圧、製図、メカトロニクス ・電気配線施工と制御システム ・電気維持管理、モーター制御

(5) 受講者 意見・感想

・カンボジアでさらに評価者を育てて欲しい。

・講習会関連で働いている立場なので自分の生徒や同僚へ今回の研修のことを共有します。